

テレビ朝日福祉文化事業団 創立40周年 **LIVE TOGETHER!** <普通にやろう!一緒にやろう!>

共生 ~隔たりのない世界へ~



ごあいさつ

社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団
理事長 吉田 慎一

本日はテレビ朝日福祉文化事業団創立40周年記念「LIVE TOGETHER! <普通にやろう!一緒にやろう!>」(品川区民芸術祭2017協賛事業)にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

1977年にテレビ朝日の社名変更を機に、より幅広い社会福祉活動を行うため、民間放送局では初めてとなる社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団が設立され、今年8月に40周年を迎えました。

この度、設立当初から大会の主催者として関わってまいりました日本身体障害者スキー協会、日本車いすバスケットボール連盟をはじめ、多くの皆様のご協力を得て、これまでテレビ朝日福祉文化事業団にご支援とご理解を賜りましたすべての皆様への感謝の気持ちをこめまして、この催しを開催する運びとなりました。

第1日目には本催しのテーマである「共生~隔たりのない世界へ~」を実践している方々のお話と、ダンスや東京パラリンピックを控える車いすバスケットボールなどのパフォーマンスに加え、今年30周年の節目となる高齢者施設訪問にご協力いただいている6組の歌手の皆様全員によるスペシャル歌謡ショーも開催します。施設訪問では見ることでできない華やかなステージを存分にお楽しみいただければ幸いです。

第2日目の第1部は「五感で楽しむコンサート」です。シエナ・ウインド・オーケストラのティンパニ奏者荻原松美さんの打楽器アンサンブルによる演奏と映像のコラボレーションや、会場の広さを音や光で表現する「音のリレー」など視覚や聴覚に障がいを持つ方も音楽を楽しめるような工夫を凝らしました。第2部は障がいを乗り越えプロとして活躍しているアーティストの競演を企画し、世界的に活躍するヴァイオリニストの川島成道さんをはじめ、左手のピアニスト智内威雄さん、和太鼓奏者片岡亮太さんとフレンチホルンの山村優子さんによるデュオ「Ajarria」の演奏をご堪能いただけます。

障がいのある方々にも会場で音楽を楽しんでいただけるよう盲導犬の入場のほか、手話通訳、字幕、各種スピーカーやイヤリングの設置など様々な鑑賞サービスをご用意しました。社会福祉法人の地域社会への貢献が望まれる今、未来へ向けての新しい一歩となるよう今後もこのような取り組みを継続していきたいと思っております。

最後になりましたが、出演者の方々をはじめ、ご賛同くださいました協賛各社、ご協力いただきました関係各位、そして本日ご来場の皆様に深く感謝申し上げます。当事業団は、今後創立50周年に向けて引き続き地道な努力を続けていく所存です。どうか皆様からこれまで同様のご支援をいただけますよう、お願い申し上げます。

2017年10月21日

タイムスケジュール TIME SCHEDULE

10/21(土)

● 開場 12:00

司会 テレビ朝日アナウンサー 久富慶子

● [第1部] **シンポジウム**
(13:00~13:40)

「普通にやろう!一緒にやろう!」

■パネリスト

- ・武蔵野東中学校校長
- ・日本車いすバスケットボール連盟会長
- ・日本身体障害者スキー協会会長
- ・振付家、アーティスト
- ・歌手

石橋恵二
玉川敏彦
目黒正己
香瑠鼓
大島花子

● 休憩(20分)

● [第2部] **パフォーマンス**
(14:00~14:50)

- ・武蔵野東中学校の自閉症児と健常児による演奏とダンス
- ・車いすバスケットボール選手によるデモンストレーション
- ・香瑠鼓振付、プロダンサーと障がい者、児童養護施設の児童によるダンスパフォーマンス

● 休憩(30分)

● [第3部] **スペシャル歌謡ショー** (15:20~16:40)
~ 高齢者施設訪問30周年特別編 ~

■出演者

- ・原田直之
- ・大島花子
- ・佳山明生
- ・園まり
- ・こまどり姉妹
- ・大津美子

10/22(日)

● 開場 13:00

司会 テレビ朝日アナウンサー 池谷麻依

● [第1部] **五感で楽しむコンサート**
(14:00~15:00)

打楽器アンサンブルによる演奏と映像の共演

■出演者

- ・荻原松美 (ティンパニ・打楽器)
- ・バーカッション・グループ ブルームーン
- ・筑波大学附属聴覚特別支援学校
野村秀樹(指揮者)

● 休憩(30分)

● [第2部] **アニヴァーサリーコンサート**
(15:30~17:00)

■出演者

- ・Ajarria 片岡亮太&山村優子 (和太鼓&フレンチホルン)
- ・智内威雄 (ピアノ)
- ・川島成道 (ヴァイオリン)
- 大伏啓太(ピアノ)

鑑賞サポート付き公演

鑑賞サポート付き公演として支援サービスをご用意しています。

- 字幕あり ■手話通訳 ■受付での手話・筆談対応
- 赤外線携帯機器によるイヤリンググループ
- 体感音響システム ■だっこ型スピーカーの貸出



だっこ型スピーカー ※イメージ

聴覚に障がいのある人も、音を楽しむことのできるだっこ型スピーカー・ハグミー。柔らかいスピーカーが歌手や楽器を抱きしめているように振動します。



体感音響システム ※イメージ

振動装置が組み込まれたボートとサブトゥクッションで構成されており、聴覚に障がいのある方も、振動によって全身で音楽を楽しむ事ができます。

※出演順不同・敬称略 ※時間は予定です。

第1部 13:00~13:40

シンポジウム

共生「普通にやろう！一緒にやろう！」を実践している各分野の方々の取り組みから私たちが向かうべき未来について共に考えます。

パネリスト

- 石橋恵二** 武蔵野東中学校校長
東京都の障害者差別解消支援地域協議会委員。学校法人武蔵野東学園は幼稚園から高等専修学校まで1600人、そのうち自閉症の子どもたちは470人。自閉症児と健常児とが共に学ぶ「混合教育」は50年以上前から実践され、インクルーシブ教育のさきがけといわれている。
- 玉川敏彦** 日本車いすバスケットボール連盟会長
1975年国立障害者リハビリテーションセンターに入所。車いすバスケットボールに出会う。1977年にオーストラリアで開かれたフェスピック(極東・南太平洋身体障害者スポーツ大会)などに出場。2002年日本車いすバスケットボール連盟副会長を経て、2016年より同連盟会長に就任。20歳の時にバイク事故が原因で左大腿部から切断。その後、ボランティア活動を行う中で、33歳で障がい者スキーと出会い、1984年に開催の第3回冬季パラリンピックと1988年の第4回冬季パラリンピックに選手として参加、第5回の冬季パラリンピックには役員として派遣される。
- 目黒正己** 日本身体障害者スキー協会会長
1996年より障がいのある人たちが参加する「バリアフリーワークショップ」を続け、独自の即興メソッドを体系化、あらゆる人の魅力や可能性を拓くプログラムを実施している。2015年度前期、東京大学教育学部非常勤講師。
- 香瑠鼓** 振付家、アーティスト
1996年より障がいのある人たちが参加する「バリアフリーワークショップ」を続け、独自の即興メソッドを体系化、あらゆる人の魅力や可能性を拓くプログラムを実施している。2015年度前期、東京大学教育学部非常勤講師。
- 大島花子** 歌手
東洋英和女学院大学入学と同時にミュージカル「大草原の小さな家」で初舞台。2003年父・坂本九の「見上げてごらん夜の星を」でメジャーデビュー。命の美しさをテーマとし、客席を巻き込んで手話で歌うコーナーや人々の心に寄り添う音楽を届けている。

第2部 14:00~14:50

パフォーマンス

自閉症児と健常児による演奏とダンス

出演 武蔵野東中学校

車いすバスケットボール選手によるデモンストレーション

出演 青柳雄一郎、三宅克己

振付家の香瑠鼓が率いるダンスパフォーマンス

出演 香瑠鼓、Api-Lucky、東京都石神井学園、聖ヨゼフホームほか



出演者

武蔵野東中学校ダンス部

2017年 第69回東京都中学校創作ダンスコンクールにおいて作品「無限でdot. ~ YAYOI KUSAMA:魂の世界」で第2位、第47回東京都中学校ダンス選手権大会では既成作品「Rising」で13年連続23回目の優勝。

青柳雄一郎 TRUST所属

TRUST所属(車いすバスケットボール歴18年)。父親が車いすバスケットボールの選手だった影響で車いすバスケットボールをはじめ。2012年 若鷗大会 優勝。関東車椅子バスケットボール健常者リーグ 優勝(2013年)

三宅克己 パラリンピック車いすバスケットボール元日本代表選手

交通事故により18歳で車いすの生活になる。1年強の入院生活を経て、車いすバスケットボールを始める。名古屋のチーム(ワールドBBC)に所属し、厳しいトレーニングを続け、1995年日本代表選手となる。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け岐阜県パラリンピック強化選手選考委員。

香瑠鼓 振付家、アーティスト

「慎吾ママのおはロック」、新垣結衣の「ポッキー」から、ピコ太郎の「Yモバイル」、菅田将輝の「ファンタレモン+C」、「ドミノピザ」まで、手掛けた振付は1300本以上。2000年にエイボン女性年度賞芸術賞(ワールドワイドに社会貢献した女性に贈られる芸術賞)を受賞。

Api-Lucky (あびらッキー) パフォーマンスカンパニー

香瑠鼓が21年間続けるバリアフリーワークショップから創設された、障がいのある人やプロのアーティストが共につくるパフォーマンスカンパニー。国際的なダンスフェスティバルでも好評を博した即興表現で、さまざまな人々をつないでいる。

第3部 15:20~16:40

スペシャル歌謡ショー

高齢者施設訪問30周年特別編



テレビ朝日福祉文化事業団は、1987年からプロの歌手などが高齢者のための施設を訪問する高齢者施設訪問事業を本格的にはじめました。日ごろ外出する機会の少ない皆さんにすてきな歌声を届け、楽しいひと時を過ごしてもらうこの事業は、これまで訪問回数200回以上、2017年に30周年を迎えました。第3部は、高齢者施設訪問30周年特別編として、6組の歌手全員による「スペシャル歌謡ショー」を開催いたします。華やかな舞台をお楽しみください。



演奏曲目(予定・順不同)

※曲目は変更になる場合があります。

オープニング司会 早川侑志 (はやかわこうじ)

原田直之 (はらだなおゆき)

- 「新相馬節」 福島県民謡
- 「南部牛追い唄」 岩手県民謡
- 「大漁唄い込み」 宮城県民謡



福島県生まれ。昭和36年に我妻桃也の内弟子となり、ポリドールより「長持唄」でレコードデビュー。昭和56年には第2回松尾芸能賞歌謡芸能部門で「歌謡芸能賞優秀賞」を受賞。平成26年春の叙勲「旭日双光章」受章。現在は民謡活動のかたわら、ミュージカルにも挑戦するなど、ますます芸の幅をひろげ活躍中。

大島花子 (おおしまはなこ)

- 「ヨイトマケの唄」 作詞・作曲 美輪明宏
- 「見上げてごらん夜の星を」 作詞 永六輔 作曲 いずみたく



坂本九の長女。2009年長男の出産を経て改めて命の尊さを音楽を通して伝えたいとの思いで、ショーロクラブのギタリスト、笹子重治とデュオライブを開始。2014年ファーストアルバム「柿の木坂」発表。そこからシングルカットされた「親父」はUSENチャート1位に。最新シングルは「ヨイトマケの唄」。

佳山明生 (かやまあきお)

- 「氷雨」 作詞・作曲 とまりれん
- 「無法松の一生」 作詞 吉野夫二郎 作曲 古賀政男
- 「夢には夢を花には花を」 作詞 夢ユメ子 作曲 池毅



昭和45年 作曲家・古賀政男最後の門下生として師事。昭和48年美輪明宏(当時丸山明宏)より芸名・佳山明生を頂く。昭和52年12月コロムビアレコードより「氷雨」でデビュー。昭和58年「氷雨」が旭川有線大賞、全日本有線大賞グランプリを受賞、全国的ヒットに。第25回日本レコード大賞ロングセラー賞受賞。

園まり (そのまり)

- 「何も云わないで」 作詞 安井かずみ 作曲 宮川泰
- 「夢は夜ひらく」 作詞 中村泰士・富田清吾 作曲 曾根幸明
- 「逢いたくて逢いたくて」 作詞 岩谷時子 作曲 宮川泰



1962年、渡辺プロダクションから「鍛冶屋のルンバ」でデビュー。中尾ミエ、伊東ゆかりと「3人娘」を結成し国民的アイドルに。「逢いたくて逢いたくて」「夢は夜ひらく」「何も云わないで」などミリオンセラーを記録。人の心に優しく響き穏やかな気持ちにさせてくれる透明感のある歌声で、今なお日本を代表する実力派女性シンガーのひとりとして幅広く活躍している。

こまどり姉妹 (こまどりしまい)

- 「ソーラン渡り鳥」 作詞 石本美由紀 作曲 遠藤実
- 「浅草姉妹」 作詞 石本美由紀 作曲 遠藤実
- 「こまどりのラーメン渡り鳥」 作詞・作曲 オオガタ ミツオ



幼い頃より門付け流しをして父母を助ける。三味線を弾いて流すうちに評判となり、スカウトを受けて昭和34年より作曲家・遠藤実に師事し、「浅草姉妹」でデビュー。「三味線姉妹」「ソーラン渡り鳥」など、ヒット曲を連発したが、昭和48年活動を休止。昭和58年活動再開後、現在まで元気に歌い続け、デビュー50周年の平成20年には第50回日本レコード大賞功労賞を受賞。

大津美子 (おおつよしこ)

- 「東京アンナ」 作詞 藤岡哲郎 作曲 渡久地政信
- 「夜空に光るあの星よ」 作詞 東逸平 作曲 杉本真人
- 「ここに幸あり」 作詞 高橋樹太郎 作曲 飯田三郎



1955年キングレコードより「千鳥のブルース」でデビュー。2作目の東京アンナが大ヒット、紅白歌合戦に初出場。1956年、師である飯田三郎作曲、高橋樹太郎作詞の「ここに幸あり」が空前の大ヒット。ハワイ、ブラジルなどの多くの日系人の間で今日まで愛唱されている。デビューから62年目の今もアルトの歌声で人生の詩を歌い続けている。



司会 久富慶子 (ひさとみけいこ)
テレビ朝日アナウンサー

現在は「スーパー」チャンネル「くりむクイズミラクル9」「おかずのクッキング」「やべっちFC」を担当。

荻原 松美 (おぎはらまつみ)

MATSUMI OGIHARA



長野県出身。上田高等学校を経て、国立音楽大学音楽学部器楽学科打楽器専攻卒業。同大学在学中に「シエナ・ウィンド・オーケストラ」に入団。現在、同楽団の打楽器奏者を務めるほか、「上野信一&パーカッショングループ"PHONIX"」「パーカッション・グループ"ブルームーン"」に所属。長野県小諸高等学校非常勤講師。尚美ミュージックカレッジ専門学校非常勤講師。

野村 秀樹 (のむらひでき)

HIDEKI NOMURA



横浜市生まれ、国立音楽大学卒業(サクソフォーン専攻)、東京コンセルヴァトアール尚美(現・尚美ミュージックカレッジ)ディプロマコース修了。現在恵比寿エスプラナードオーケストラ、大東文化大学吹奏楽団の指揮を務める。

東京藝術大学

TOKYO UNIVERSITY OF THE ARTS



東京藝術大学は文部科学省とJSTによりCOI(センターオブイノベーション)の拠点に認定され、芸術を社会に役立てる研究を行っている。2016年は、聴覚障がい者のために楽器の音量を視覚化する演奏支援システムを、藝大「障がいと表現」[共感覚メディア]研究グループ、ヤマハ株式会社、筑波大学附属聴覚特別支援学校との共同研究により開発した。

Ajarria (アジャーリア)

片岡 亮太 & 山村 優子

(かたおかりょうた やまむらゆうこ)

RYOTA KATAOKA & YUKO YAMAMURA



静岡県三島市出身。11歳の時に盲学校の授業で和太鼓と出会う。2007年、上智大学文学部社会福祉学首席卒業、社会福祉士の資格取得。プロ奏者としての活動を開始。和太鼓、ジャンベ、ホーミー、歌などを組み合わせた独自のソロパフォーマンスを中心にコンサートやイベント等に出演。2011年、在米中にジャズホルン奏者で作曲家の山村優子と出会い、デュオ「Ajarria」を結成。

智内 威雄 (ちないたけお)

TAKEO TCHINAI



東京音楽大学在籍中よりミラノにて研鑽を積み、2000年、ドイツ・ハノーファー音楽大学に入学し、国際コンクールで入賞する。2001年に局所性ジストニアが右手に発症。大学を休学し、ベルリンにてロラン・プレー氏の元でリハビリを開始。2003年、左手のピアニストとして音楽活動を再開。2010年から「左手のアーカイブ」プロジェクトを発足し、左手演奏用の初級・中級の楽譜を監修。

川島 成道 (かわばたなりみち)

NARIMICHI KAWABATA



視覚障がいを負った幼少期にヴァイオリンと出会い、音楽の勉強を始める。桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院へ留学。1997年、同院を同院史上2人目となるスペシャル・アーティスト・ステータスの称号を授与され首席卒業。CDは1st、2ndアルバムがそれぞれ20万枚の記録の大ヒットとなって以来14枚をリリース。英国と日本を拠点にソリストとして精力的な活動を展開し、毎年数多くのリサイタルと国内外の主要オーケストラとの共演を行っている。

大伏 啓太 (おおぶしけいた)

KEITA OBUSHI



東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学を卒業、同大学大学院修了。全日本学生音楽コンクールピアノ部門全国大会第1位、日本音楽コンクール第3位、Pianale国際コンクール(ドイツ)第1位。

司会

池谷 麻依 (いけたにまい)
テレビ朝日アナウンサー

現在は「週刊ニュースリーダー」[原宿アベニュー (AbemaTV)]
「AbemaNews (AbemaTV)」を担当。

22 [日]

LIVE TOGETHER! CONCERT

第1部 14:00~15:00

五感で楽しむコンサート

打楽器アンサンブルによる演奏と映像との共演。曲と光が運動して様々に変化する映像を大型スクリーンに映し出し、聴覚障がいの児童が音量視覚アプリを使って打楽器演奏にチャレンジします。

聴覚障がい者が打楽器を音楽的に演奏するために、音量を視覚化しiPad画面に表示する装置。東京藝術大学COI拠点とヤマハ株式会社により共同開発された。

演奏曲目 (予定・順不同)

※曲目は変更になる場合があります。

荻原松美 (ティンパニ・打楽器)
パーカッション・グループ ブルームーン

筑波大学附属聴覚特別支援学校
野村秀樹 (指揮)

- ◆ ズールー・ウェルカム
- ◆ ランデブー
- ◆ (映像)ペール・ギュント
- ◆ トム・トム・フリー
- ◆ ラデツキー行進曲

*ヤマハアプリ(音量視覚アプリ)使用

- 作曲 ジークフリート・フィンク
- 作曲 デイヴ・サミュエルズ
- 作曲 グリーグ
- 作曲 アラン・ペール
- 作曲 ヨハン・シュトラウス1世

第2部 15:30~17:00

アニヴァーサリーコンサート

演奏曲目 (予定・順不同)

※曲目は変更になる場合があります。

Ajarria 片岡亮太 & 山村優子 (和太鼓 & フレンチホルン)

- ◆ 仄風(ほのかぜ)
- ◆ 大地
- ◆ パナケア
- ◆ 寛伽羅麗(かんからり)

- 作曲 山村優子
- 作曲 片岡亮太
- 作曲 片岡亮太
- 作詞・作曲 山村優子

智内威雄 (ピアノ)

- ◆ アリエッタ Op. 12-1
- ◆ ウェディングソング Op. 65-3
- ◆ さくら (日本古謡)、かごめかごめ (童謡)
- ◆ 前奏曲と夜想曲 Op. 9

- 作曲 グリーグ
- 作曲 ボルトキエヴィチ
- ~ (左手のアーカイブプロジェクト初心者用楽曲より) ~
- 作曲 スクリャービン

川島成道 (ヴァイオリン)

大伏啓太 (ピアノ)

- ◆ アンダルシアのロマンス Op. 22-1
- ◆ ハンガリー舞曲第5番
- ◆ 精霊の踊り
- ◆ ラ・カンパネラ
- ◆ 4つの即興曲より第3番変ト長調 Op. 90-3, D. 899-3

- 作曲 サラサーテ
- 作曲 ブラームス
- 作曲 グルック<クライスラー編>
- 作曲 パガニーニ<クライスラー編>
- 作曲 シューベルト<クライスラー編>

- ◆ チャルダッシュ

- 作曲 モンティ

テレビ朝日福祉文化事業団 創立40周年

LIVE TOGETHER!

普通にやろう! 一緒にやろう!

未来へ向けての一步となることを願って、障がいのある人ない人が共に創りあげるステージを、
テレビ朝日福祉文化事業団が応援するすべての人と感じ合う2日間。

21
[SAT]

[第1部]

シンポジウム

「普通にやろう!一緒にやろう!」

[第2部]

パフォーマンス

[第3部]

スペシャル歌謡ショー
～ 高齢者施設訪問30周年特別編 ～

[第1部]

五感で楽しむコンサート

[第2部]

アニヴァーサリーコンサート

22
[SUN]

2017年10月21日(土)・22日(日)

品川区立総合区民会館「きゅりあん」8階大ホール

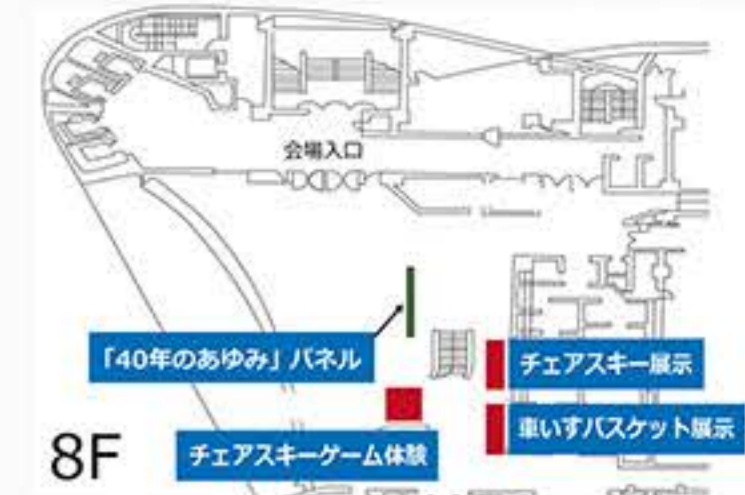
《主催》テレビ朝日福祉文化事業団 品川区民芸術祭2017 協賛事業

10月21日(土)・22日(日)

13:00～17:00

ロビー展示

テレビ朝日福祉文化事業団40年のあゆみを振り返るパネルのほか、創立当初から関わっている車いすバスケットボールや障がい者スキーなどで使用する用具を展示。ゲーム機を使ったチェアスキー体験など来年の平昌オリンピック・パラリンピック、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、見て触れて身近に感じられるコーナーを設置しています。



障がい者用チェアスキー・車いすバスケットボール競技用車いす試乗



障がい者用チェアスキーとアウトリガー



チェアスキー



バスケットボールで使用する競技用車いす

チェアスキーゲーム体験



ゲーム機を使ったチェアスキー体験

開発40年 最強のチェアスキー

神奈川県総合リハビリテーションセンター(厚木市)

チェアスキーをご存知ですか?チェアスキーは1980年に神奈川県総合リハビリテーションセンターで開発され、以来、研究開発を繰り返して今ではパラリンピック冬季大会で金メダルが取れるまでになっています。写真を見てわかるとおり、チェアスキーは座って滑るスキーです。

このチェアスキーは両手が使えれば滑ることができますが、現在は頸髄損傷(C6)の人まで滑っています。

2010年に行われたバンクーバーパラリンピックのアルペン競技では、日本選手が金・銀・銅メダルをとるなど、優秀な成績を収めました。

テレビ朝日福祉文化事業団「40年のあゆみ」パネル展示



主催：テレビ朝日福祉文化事業団
後援：品川区 東京都社会福祉協議会 品川区社会福祉協議会 テレビ朝日
場所：品川区立総合区民会館「きゅりあん」8階大ホール
(以下は22日のみ)

共催：東京六本木ライオンズクラブ 東京原宿ライオンズクラブ
特別協賛：(株)竹中工務店 ダイダン(株)
協賛：アラコム(株) ALSOK東京(株) (株)伊佐梅 (株)大塚商会 (株)関電工 (株)コマデン (株)サンフォニクス
(株)シービーエス (株)台東サービス (株)テルミック (株)東京美術 富士ゼロックス(株)
富士通(株) (株)ミヤギ 横浜エレベータ(株)東京支店
協力：東京藝術大学 ヤマハ(株)